

南米の国からふたりの賓客 ベネズエラ歓迎のつどいへ220人

岡山県AALA(アジア・アフリカ・ラテンアメリカ)連帯委員会の呼びかけでつくられた実行委員会。遠い南米の国から二人のお客さんを迎えるために、数回の実行委員会を開きました。
この日の参加者は、予想をこえる2百人余の参加がありました。



は、この会の意義を訴えるものでした。歓迎の心を表すこの日の圧巻の出来事は、鳥取県AALAの伊谷さんから高価な日本の花嫁衣裳の「うちかけ」が贈られたことです。ベネズエラのお二人はも

3月23日
(県総合福祉会館)
春を待つ日本の各地を、沖縄から北海道まで18か所の訪問計画の代表団は、沖縄、福岡、高知などの集会に出席。広島原爆資料館も見学して岡山へ来ました。
会は、会場全員の歌う日本の古謡「さくらさくら」で、二人を舞台に迎えました。徳方実行委員長の歓迎のあいさつ



475
2006/04/15

ちろん、会場からも驚きの声がありました。

つどいは、二人の話を聞くことが主な目的でした。まずフェリペ・ペイグロアさんが「ベネズエラ革命の現状」を語りました。チャベス大統領による指導下で、国民による真の民主主義の集団的建設。憲法が制定されたいきさつや、その結果、国民の圧倒的多数による参加型民主主義を得て、自由、独立、平和、連帯などの施策が進み、農業改革や石油の主権保護、小規模農漁業の保護や金融機関の社会的責任や

協同組合の推進などが進んだことに触れました。今日のこの国での圧倒的市民の支持を得て進む国の建設と、南米における指導的な役割を担っていることが、よく理解できました。

次に、ジョニニーニョさんが「変革が起きたベネズエラの歴史」を語りました。アメリカ合衆国の抑圧のもとで起きる軍隊の民衆虐殺や、政府の腐敗、国民への欺瞞、ガソリンなど国の資源のアメリカ合衆国への売り渡しなどに抗して、チャベス司令官による政権のクーデターがありました。これは

敗北に終わりましたが、後のベネズエラ国民の大きな支持によるチャベス大統領の当選につながった歴史を語りました。

アメリカの新自由主義政策に基づく諸政策の押し付けに反対し、国内では不平等問題、社会の最底辺の人々を巻き込む新政策が、国民の多くの支持を得るにいたった話は、感動的でした。講演を終えて、短時間ながらも歓迎のプログラムは楽しいものでした。若者による歓迎の歌と踊り、ベネズエラで第2の国歌として愛されている「平原の魂」の岡山

合唱団による合唱は、一人もいっしょに参加。ふんいきを盛り上げました。原爆をテーマにした「青い空は〜」We Shall Overcome」などを会場といっしょに歌って会を終えました。

(澤山)

味よしお手軽 たのしかった

第29回料理教室 「杭州料理」

この日は一日 雨が降ったり晴れたり荒れた天気となりました。

いつもより参加人数は少なく、ゆつたりと落ち着いた雰囲気なかで時々中国語を話しながら楽しく行なわれました。

今回の小麦粉料理は、薄力粉にイーストを加え、パンをこねるときのようにしました。

そのためふんわりと軽さが出てきて、食べやすく感じられました。中に入れる具も応用ができて、休日の手軽な一品によさそうです。(千層餅)

そして初めての魚料理で鯉を使いました。なかなか手に入りにくかったそうです。私自身初めて食べました。切り目を美しくいれた魚を一匹丸ごと油で焼いていきます。見栄えもよくておもてなしに最適です。(西湖酢魚)

ほかに豚足のあえものを作りました。これは少し調理するのに覚悟が必要でした。もちろん足の形のままですから、骨をはずしたり、身を削いだり、包丁も手もべとべとで大変でした。美肌効果ありとのことですから、日ごろから取り入れたいですね。(豚足前菜)



菜)

どの料理も手軽で味もよく、またぜひ作って見たいものです。

この日のために入念な準備を重ねてこられた皆様。ありがとうございました。楽しい時間を過ごすことができました。(ヨフウ)



ヨフウさま。投稿に感謝します。毎回ですが講師と事前に制作。それにもとづいてレシピがつけられ、気に入った料理を家庭でいつでもつくれるように準備がなされます。そのレシピも、もう29枚にもなりました。レシピが欲しい方は、お申し込みください。お送りします。

この日の話し合いで、次回第30回「記念の料理教室は、中国のおやつ」と決まりました。これから講師さがしと、日程づくりが始まります。みなさんのお知恵を貸してください。

澤山

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
新・メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



自動車が増える中国の未来

中国の発展は凄まじく、高層ビルが林立する大都市は巨大化を続け、自動車の急増による渋滞と排気ガスによる大気汚染が新たな問題となっている。

ここ数年、世界各国の大手自動車メーカーが中国の発展と成長を睨んで、こぞで中国の自動車産業に参入し、その生産規模を年々拡大している。

ドイツの 아우ディは長春で1986年から年産1.8万台、フォルクスワーゲンは上海で87年から年産30万台、BMWは瀋陽で2003年から年産3万台を

生産している。

アメリカのフォードも2001年から長安に生産拠点を確保している。中国での三菱の販売台数は2003年には15万台に達し、広州に集中している日本のホンダ、日産、トヨタは2007年までに年産100万台、ベントンは北京で2008年までに100万台の計画である。というように高級車の中国での供給拡大が続くのである。

2004年中国では自動車販売台数はピーク時の半分に低下し、高級車、外車の需要が鈍化し始めているように見える。

現在の中国では高級車に手の届く中産階級の割合は全人口の1割未満とされ、その半数は既に乗用車を所有している。しかし今後5年以内に2億人から3.5億の人が中産階級に仲間入りすると予測され、高級車の需要が増える可能性が大である。

高級車や外車は中産階級以下の人々にとっては高嶺の花で、低額の国産車の需要が見込まれる。中産階級以下の人口は5.6億と推測され、現状では高級車よりも低価格車の市場が広いと言える。上記のように中国ネンドも同じ状況の自動車市場の発展を背景に、世界の石油先物取引価格の史上最高値を更新し、日本の鉄鋼の価格も暴騰している。

昨年末、最大手中国ヤフーは中産階級の暮らしについて、大規模なアンケート調査を行い、11万人の協力を得たという。

それによると、現在乗用車を所有している人の90%以上の人が



理想な住宅(広州祈福)

ざるを得なくなるだろう。2002年広州からバスで30分の近郊にある祈福新村に行つたことがある。そこは国立自然公園の麓に位置し、市内の同じランクの住宅より割安で、大都会の雑踏から離れ、自然に恵まれていて、静かで便利で押しやれな町を呼び物にして、都会の中産階級を引き付けている。今後中国の他の処にもこのような住宅の需要が増えると予測する。建物が密集し、人口が集中し、自動車が混雑する大都会よりも、緑に囲まれ、静かな環境で新鮮な空気を吸う「桃源」郷に住みたいと夢見る人にとっては、乗用車があれば、夢も現実になるに違いない。

都市分散型の都市建設が早く到来してほしい。(川崎医療福祉大学教授・社会学)



渋滞状況(北京)

が5年以内に新車を購入するか乗り換える。そのうちワンランク上の車を購入すると、生活にもっと便利なものに換えるはそれぞれ26%となる。また車を持っていない人のうち80%が車を購入したいと希望している。乗用車の需要は依然として大きいと考えられる。交通渋滞と排気ガスの難題解決は可能なのか。地下鉄建設など道路の整備のほか、都市建設の方向転換が必要となってくる。調査によると高級マンションの所有者のうち、39%の人が郊外に別荘を持ちたい、20%の人が近郊にあるTown Houseに入居したいという。都市中心型の都市計画から郊外や近郊に目を転じ

NO WAR PEACE 9 戦争の放棄 憲法フォークジャンボリーinおかやま

4. 22 (土) 憲法フォークジャンボリー

23 (日) 「わが大地のうた」笠木透と雑花塾コンサート

両日とも13時開場 13時半開演

天神山文化プラザ (Tel.086-226-5005)

(岡山県立美術館の北西の隣です。)

1日券は2000円、両日券は3000円

主催:「憲法フォークジャンボリーinおかやま」実行委員会

Tel.090-5371-7793 (支部に券あります)

岡山の裁判日程

残留孤児を支える岡山の会 ニュース

第9回口頭弁論 4月19日(水) 10時半~12時

裁判官交代(二人の陪席裁判官の)に伴う弁論更新

第10回口頭弁論 5月24日

(水) 13時半~16時半

原告尋問 高杉・大森(輝)氏の両氏を予定

第11回口頭弁論 7月5日

(水) 13時半~16時半

原告尋問(2名 未定)

第12回口頭弁論 9月13日

(水) 13時半~16時半

原告尋問または嶋氏の証人尋問(予定)

日本語教室で教えていただける

ボランティアの方を募集しております。

毎週でなくても、できるときで結構です。

助けていただけないでしょうか。ご連絡をお待ちしています。

連絡先 小林宅 086-277-2470 (Fax兼用)

《日中青年交流イベント企画》

【名称】 春光を楽しむ日中青年の集い in 2006

【日時】 2006年5月28日

(日曜日) 10:30~16:00

【場所】 ◆岡山百間川河川敷

緑地(野外BBQサイト・予定)

【人数&会費】 ◆30~40名

1,500円/人(野外BBQ)

【目的&狙い】 日本と中国の若

者同士の相互理解、友好関係を

を進展させ、日本と中国への

様々な関心に応える青年の交

流活動」を岡山で展開していく

ために、きっかけを作ろう、

身近でよいから、交流の場を設

けよう」等の声にこたえるべく、B

ご意見をお待ちしています。

岡山支部の青年会部からの

提案です。

次回の新聞送付作業は

4月21日(金)午後1時半

民主会館2階で行ないます。

前回お手伝いくださった方々

です。

林山内井部垣
小澤竹坪服三